



# ちょっと谷戸沢

第4号  
2014年8月

## カイツブリの「子育て奮闘中！」

毎年、谷戸沢処分場の清流復活用貯水池ではカモやツバメなど多くの鳥が休息や餌場として利用しています。今年はカイツブリが浮島に巣をつくり、繁殖を確認することができました。ちょっと、子育ての様子をのぞいてみましょう。



カイツブリの親子

今年は、カイツブリの赤ちゃんが4羽産まれました。親鳥は頬から首にかけて赤褐色の模様がありますが、子供たちは少し成長した現在も、外敵に見つかりにくいシマ模様をしています。

オスとメスが交互に餌を探す係と子を守る係に分かれ、協力して子育てをします。



浮島

## 潜るのはもう少し、大きくなってから



「疲れたから休ませて」

カイツブリは「水を掻いて潜る」ことから名付けられたように、水中に潜って餌をとります。

子供たちは産まれたその日から泳ぐことはできますが、潜ることは得意ではありません。親鳥と一緒に行動して潜りの練習をします。疲れて親鳥の背中に乗って休む、可愛らしい姿を見ることができるかもしれません。

## おまけ



「さあ、今日は潜りの練習をしよう！」

親鳥の後ろを一生懸命、子供たちが追いかけます。



「どこにいったの〜？」

親鳥が水の中に潜っていきました。子供たちは親鳥を探します。



「みんな、上手に・・・あれ？」

なんと！ 子供が1羽いません！この紙面のどこかに遊びに行ったようです。

**皆さんは見つけられますか？**